

JFA第50回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会 道南ブロック大会 開催要項

- 1 主 旨 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
- この趣旨を受けて、公益財団法人北海道サッカー協会として本大会を実施し、JFA第50回全日本U-12選手権大会北海道大会【2026年10月31日(土)～11月1日(日)】に道南ブロック代表として出場するチームを決定する。(北海道大会の開催地区が苫小牧地区であるため苫小牧地区第1位はストレートで本大会に進出することとし道南ブロックの参加枠の残り2チームを決定する)。
- 2 名 称 JFA第50回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会 道南ブロック大会
- 3 主 催 公益財団法人 北海道サッカー協会
- 4 主 管 苫小牧地区サッカー協会
- 5 期 日 2026年10月3日(土) ※予備日10月4日(日)
- 6 会 場 TOMASEI フットボールフィールド(苫小牧市清水町3丁目3-26)
- 7 参 加 資 格 (1) 「参加チーム」は2026年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。道南ブロック3地区での予選を経て所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
*「加盟チーム」とは、12歳未満の選手により構成されるチームである。ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。
- (4) 地区予選から全国大会に至るまで、同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
- (5) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項(3)は適用される。
- (7) 「参加チーム」はU-12リーグに参加していること。
- (8) 引率指導者
○引率指導者(チーム役員)の登録は、6名以内とする。引率指導者とは「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。
○ベンチ入りする引率指導者は試合ごとに2名以上3名以下(メディカルスタッフ含)とし、ベンチ入りするチーム指導者全員がJFA公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有することとする。ただし、メディカルトレーナーはライセンスを保有してなくてもよい。
○戦術的な指示や コーチングを行う者(監督・コーチ等)は、全員がサッカーD級コーチライセンス以上を有することとする。
○メディカルトレーナーは、戦術的な指示やコーチングを行うことはできない。メディカルトレーナー枠を行使する場合は、ベンチ入りは1名までとし、ビブス等を着用するなど自チームで準備し、ゲーム関係者が把握できるようにすること。

* 全国大会の要項においては、以下のような要項になるので注意すること。

『チーム役員は「参加チーム」を掌握または指導する責任ある者であること。
なお、ベンチ入りするチーム役員のうち、戦術的な指示やコーチングを行う者
(監督・コーチ等)は、全員がサッカーD級コーチライセンス以上を有し、かつ、
少なくとも1名はC級コーチライセンスを有すること。』

- (9) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
- (10) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。

- 8 参加チーム及びその数 室蘭地区・函館地区のそれぞれ予選を勝ち抜いた各3チーム計6チーム
および苫小牧地区の予選2位、3位の合計8チーム。
- 9 競技規則 (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」「8人制サッカー競技規則」による。ただし、詳細に関しては、本大会用として競技方法に定める。
- 10 競技方法
 - (1) 4チーム2ブロックのトーナメント戦とし各ブロック優勝チームが北海道大会に出場する
同点の場合、6分(3分前後半)の延長戦を行い、なお勝敗が決しない場合は、PK方式(3人ずつ)によって、勝利チームを決定する。
 - (2) 競技のフィールド
 - フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mを原則とする。
 - ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
 - その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
 - (3) 試合球
試合球は、少年用4号球とする。
 - (4) 競技者の数および交代
 - 競技者の数は、1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。(8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。)
 - 登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
 - 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。主審、補助審判の承認を得る必要はない。
 - ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
 - 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
 - (5) テクニカルエリアを設置する。
 - (6) ベンチ入りの人数
 - 交代要員8名、ベンチ入りするチームの役員数は2名以上3名以下とする。
*これに反した場合には、チーム役員に対し、大会規律委員会より懲罰を科す。
 - その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
 - (7) 試合時間

○試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は原則10分とする。

- (8) 暑熱下において、前・後半中に飲水タイムを採用する。(採用については、大会本部で決定し、チーム・審判員へ伝える。)
- (9) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数:2名以内

11 ユニフォーム

- (1) (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、(2)以下については、一部本大会(道南ブロック大会)の緩和規定として採用する。
※あくまで(公財)北海道サッカー協会4種委員会の緩和規定であるので、全国大会は、この限りではないので注意。
- (2) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携行し、いずれかを着用しなければならない。
* なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
- (3) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
- (4) ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーとなる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
- (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- (6) アンダーシャツ・アンダーショーツ・タイツの色は問わないが、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (7) Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号(10)に準じる。
- (8) シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- (9) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (10) ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。

* 公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

- (11) フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。

12 審判員

主審、副審(2人)、第4の審判員の4名で運営する。

* グリーンカードを積極的に採用するように心がける。

13 マッチウエルフェアオフィサー

全ての試合において配置する。

14 懲 罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規定上の同一当該競技会とみなし、予選終了時で退場

による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。

- (2) 本大会の地区予選で受けた警告については、累積として本大会には、持ち越さないものとする。
- (3) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (4) 大会規律委員会の委員長は苫小牧地区サッカー協会第4種委員長とする。
- (5) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (6) 本大会期間中において退場を命じられた競技者等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の措置については規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (7) 本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

15 参 加 料

12,000円(税込)

16 参 加 申 込

参加チームは以下の手続きを期日まで完了すること。

※万が一地区代表決定の都合上、手続きが間に合わない場合は速やかに主管地区協会に報告の上、速やかに対応すること。

- (1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書を
Eメールで所属地区協会事務局まで送付すること
(地区協会経由で申込先A、Bに送付)
- (2) 大会参加料(12,000円)を下記申込先Bの参加料納入口座へ振込むこと。
- (3) 親権者同意書は捺印の上、申込先A宛に郵送で提出すること。
- (4) 提出期限はすべて2026年9月11日(金)17時必着とする。

【申込先 A】 (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

TEL (011)825-1100 FAX (011)825-1101

【申込先 B】 苫小牧地区サッカー協会

〒053-0022 苫小牧市表町 3-1-12 第2CKビル 4F

苫小牧地区サッカー協会

TEL 0144-82-9561

FAX 0144-82-9562

E-mail tomakomai-fa@sunny.ocn.ne.jp

【参加料納入口座】

銀行名 苫小牧信用金庫 市役所出張所

口座名 苫小牧地区サッカー協会 会長 戸村 真規

口座名カナ トモマイチクサッカーキョウカイ カイチョウ トムラ マサキ

口座番号 普通 1002886

※必ずチーム名で振り込むこと

17 組 合 せ

2026年9月14日(月) 苫小牧地区サッカー協会において行う。

*組み合わせは(公財)北海道サッカー協会 HP の「大会情報・4種」で確認することとする。

18 帯 同 審 判

- (1) 参加チームは公認審判員(3級以上)を1名必ず帯同させること。所属地区協会は、その氏名、級を主管地区協会に提出のこと。
- (2) チーム内で審判員が用意できない場合は、地区内その他チームから派遣するなど地区協会と相談し、責任をもって帯同審判員を用意すること。
- (3) 帯同審判員として登録した者は、大会期間中に審判業務を最優先とすること。コーチとの兼務は可能とするが、監督が帯同審判員を兼ねることはできない。

- い。
- 19 選手証 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- 20 選手変更 選手や役員の変更・追加登録は原則認めない。不測に事態に対しては3地区4種委員長にて協議する。
- 21 監督会議 (1) 日時 2026年10月3日(土) 9時00分より
* 監督もしくはチーム指導者代表は必ず出席のこと。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
- 22 開 会 式 行わない
- 23 閉 会 式 行わない
- 24 表 彰 式 行わない
- 25 その他 (1) 各ブロック優勝のチームには、2026年10月31日(土)～11月1日(日)に苫小牧地区で開催される「JFA第50回全日本U-12サッカー選手権北海道大会」への参加を義務付ける。
(2) 当該チームの道南ブロック大会での登録数が20名に満たない場合は、北海道大会への申込み時に同一クラブ内の選手から補充することができる。
(全国大会は、1次登録では選手が最大20名／役員上限なしだが、最終登録の段階で選手16名／役員6名と絞ることになるので注意すること。)
(3) 北海道大会と本大会は、懲罰規定上の当該競技会とみなし、本大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、北海道大会において順次消化することになる。
(4) 本事業にあたっては、以下通知の通りとする。
『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後のHKFA主催事業について(通知)』 <https://www.hfa-dream.or.jp/wp-content/uploads/2024/03/HKFACOVID-19Category5Update.pdf>
(5) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
(6) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
(7) 選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。

以上